

【全訳】

ユウジ、ケビン、ハルカ、メアリーは高校の農園部に入っています。彼らは今、部室で話しています。彼らの先生の川井先生が部室に入ってきます。

川井先生：やあ、みんな。今日の作業は終わったのかな？

ユウジ：こんにちは、川井先生。ええ。これらを見てください。

このトマトは全部、ほくらの農園でとれました。

川井先生：ああ、そんなにたくさん？ それにみんなとてもおいしそうだね。

ケビン：すでにいくつか食べてみたんですが、本当にとてもおいしいですよ。

ハルカ：ここにたくさんトマトがあるから、私たちは家族のためにいくつか家に持ち帰れるわね。川井先生もいくつかお取りください。

川井先生：ありがとう。では、次回はきみたちを手伝うよ。

ユウジ：本当ですか。それはすばらしいです。トマトがまだいくつか残っています。次の土曜日にそれを摘みとるつもりなんです。でもケビンとメアリーがその日に作業ができないので、ハルカとほくだけでそれをする必要があります。

川井先生：その日は、私はひまだよ。きみたちを手伝ってうれしいよ。ところで、メアリー、きみは8月に日本に来たよね。きみは自分の国で農作業をしたの？

メアリー：いいえ、これが初めてです。私は友人たちと楽しく作業をしていて、このようにすばらしい作物がとれてうれしいです。ユウジ、毎年、この学校ではそんなにたくさん作物がとれるの？

ユウジ：いいや、今年は特別なんだ。ほくたちは昨年うまくできなかったよ。作物は小さかったし、あまりおいしくなかった。

ケビン：今年は、夏の天候が良かったんだ。晴れの日と雨の日が十分あったし、暑すぎなかったからね。幸運だよ。

川井先生：私はきみたちがとても一生けん命に働いたとも思うよ。それは、ごほうびのようなものだね。

メアリー：そのとおりです。雨の日や風の強い日に作業するのは本当に大変でしたが、私にはよい経験でした。私にとっては草取りが最も大変な作業で、収穫が最も好きな作業です。

川井先生：よかったね。ところで、もう次の種まきの準備をしなければいけないね。何かアイデアはあるのかな？

ユウジ：それについて話しているところだったんです。ここにこの前の5月のほくたちの農園の見取り図があります。

ケビン：ほくたちの農園には4つの区画があります。5月には

B区画でダイコンを、C区画でジャガイモを栽培していました。川井先生：そうだね。それで、7月にその作物を収穫して、そこに長ネギと、またダイコンの種をまいたんだね。

ハルカ：あのダイコンとジャガイモはよかったわね。母がそれでいくつか食事を作ってくれました。ケビンが家族と私の家に来てそれを食べてくれました。

ケビン：うん。それはとてもおいしかったな。ほくはそのときダイコンを初めて食べたんだけど、とても好きになった。

メアリー：わあ。それを収穫するのが楽しみだわ。でも、ダイコンは今、C区画にあるわ。なぜB区画に種をまかなかったの？

ハルカ：1つの作物を連続して同じ場所で栽培するのは、その土壌にとってよくないからよ。毎シーズン、違った作物を栽培するべきなの。川井先生がそれを教えてくれたのよ。

メアリー：なるほどね。B区画とC区画の作物は今よく育っているわね。いつ収穫できるの？

ユウジ：今日は9月10日だから、今から2か月後にその2つの作物を収穫し始めることができるよ。

メアリー：ああ、待ちきれないわ。

川井先生：D区画のトマトはまもなく収穫を終えるだろう。この区画では何の作物を栽培したいのかな？

ケビン：2つアイデアがあります。1つのアイデアはタマネギです。昨年それを育てようとしたんですが、うまくいきませんでした。だからほくはもう一度それに挑戦したいんです。

ハルカ：もう1つのアイデアはイチゴです。それは一度も試したことはありません。もしたくさんイチゴを栽培することができたら、私はそれをいくつか使ってケーキを作りたいです。

川井先生：じゃあ、その区画をより小さな2つの区画に分けて、その1つでタマネギ、もう1つでイチゴを栽培したらどうだろう？

メアリー：すごいですね。そうしましょうよ。

ユウジ：賛成だよ。すべてのトマトを収穫してから今月の終わりまでにそれらを植え終えるべきだね。その準備をしよう。

ケビン：了解。えっと、A区画では5月からサツマイモを栽培していて、来月それを収穫し終えるよね。この区画には何をすべきかな？

川井先生：何もアイデアがないのであれば、何も植えないのがよいアイデアかもしれないよ。そうすることによって、来年の農作業に向けて土壌をまたよりよくすることができるんだ。

ハルカ：わかりました。10月の終わりの私たちの農場の見取り図ができたわ。それに向けて作業を開始しましょう！